

Business Report

2022.4.1 ▶ 2023.3.31

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年3月期の業績につきましてご報告いたします。

当社は2022年6月23日に、東京証券取引所グロース市場に上場し、2023年3月期が上場後初めての決算期となります。

当事業年度（2022年4月1日～2023年3月31日）におけるわが国経済は、ロシアのウクライナ侵攻による資源、穀物価格の高騰、グローバルなサプライチェーンの不安定化、米欧の相次ぐ利上げを受けた円安の影響が加わり、物価が大きく上昇しました。また日本銀行も金融緩和策を一部修正し、長期金利の上昇を認める上限を引き上げ、マーケットでは実質的な利上げと受け止められるなど、事前の想定を超える展開となりました。

このような環境の中、当社は慶應義塾大学発ベンチャーとして、“ビジョナリーイノベーションで未来をごきげんにする”をミッションに掲げ、「近視、ドライアイ、老眼の治療に革新的なイノベーションを起こす」という目標のもと、新型コロナウイルス感染症の感染防止を第一に、自宅勤務、時差出勤、事務所および研究室の衛生管理等を実施し事業活動を行ってまいりました。

研究開発につきましては、引き続き新規知財の発見および新規パイプライン追加のための基礎研究、知財の導出およびアカデミアやパートナー企業との共同研究を強化してまいりました。またバイオレットライト技術を用いた近視進行抑制のための医療機器開発（TLG-001）の検証的臨床試験（治験）も継続しております。一方事業開発では、上記医療機器開発（TLG-001）の検証的臨床試験（治験）の開始に基づき、国内を対象とした実施許諾契約のマイルストーンを達成したほか、海外では北および南アメリカ大陸を対象とした新規実施許諾契約を締結しました。また、近視進行抑制作用を発揮する点眼薬TLM-003では、開発を進めている共同研究開発契約のマイルストーンを達成し、

海外では米欧を対象とした新規実施許諾契約を締結しました。

知財では、2023年3月期中に登録された特許は5件となりました。

また論文につきましては、当社代表坪田一男を中心とする研究グループが、近視の進行抑制に関する新たな知見を発見し、その成果が学際的総合ジャーナル「Nature Communications」（オンライン版）に掲載された他、「近視進行抑制に機能する血管内皮増殖因子の新たな機能を発見」、「バイオレット光照射型眼鏡を用いた探索治験の結果」、「近視モデルマウスにおけるバイオレットライト透過レンズの近視進行抑制効果」等を発表しました。

以上の結果、当事業年度における売上高は954百万円、営業利益は167百万円、経常利益は144百万円、当期純利益は90百万円となりました。

配当につきましては実施せず、治験研究費、サイエンスの発見および知財化のための基礎研究費等を内部留保資金として、資金の確保を優先する方針としております。

しかしながら株主の皆様への利益還元につきましては重要な経営課題と認識しており、将来におきまして、安定的な収益の獲得が可能であり、かつ研究開発資金を賄うに十分な利益が確保できる場合には、将来の研究開発活動等に備えるための内部留保充実の必要性等を総合的に勘案した上で、利益配当についても検討してまいります。

当社といたしましては、皆様のご期待に応えるべく、より付加価値の高い事業展開を通じて、近視、ドライアイ、老眼、また脳疾患といった、グローバルな社会課題の解決を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業内容

当社は、代表の坪田一男の基本理念である“ごきげん”をキーワードに近視、ドライアイ、老眼の新たな治療法の開発を目指す慶應義塾大学発ベンチャーです。

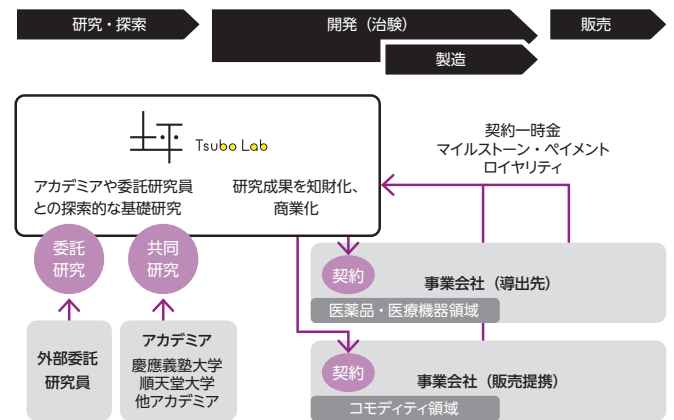
近視、ドライアイ、老眼は、超高齢社会における健康長寿とQuality of Visionの観点から眼科医療領域において大きな課題と認識されていますが、いまだ原因療法が確立していない領域であり、提携大学と連携し先進的な研究を行っています。そして、研究成果を評価するパートナー企業とともに共同開発を行い、新しい価値を提供する製品を上市してまいります。

またこれらの3領域に加えて、眼と同じ中枢神経系である脳関連の疾患にも研究領域を拡大しています。

当社のビジネスモデルは、パートナー企業との共同研究開発契約および実施許諾契約による契約一時金、マイルストーン・ペイメントならびに事業化後（上市後）のロイヤリティ契約に

よるロイヤリティで収益化し、その収益を新しい研究に投資することで、新たな価値創造につなげていくことを目指しております。

当社の事業領域



当社における収益構造

収益	内容
契約一時金	共同研究開発契約および実施許諾契約の契約締結時に、当社が提供するそれまでの研究成果および知財実施権許諾の対価等として受け取る収入
マイルストーン・ペイメント	契約相手先の研究開発の進捗(契約書に規定された研究開発段階の達成)又は売上の進捗(契約書に規定された売上高の達成)に応じて受け取る収入
ロイヤリティ	医薬品、医療機器等の上市後に販売額の一定率を受け取る収入
コンサルティング	製薬会社等へのコンサルティングの対価として受け取る収入

パイプライン概要：医薬品・医療機器（薬事承認・認証 必要）

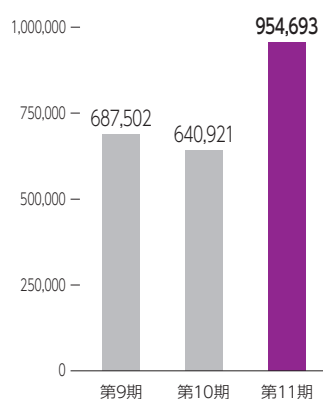
コード	アイテム	適応	関連特許 ^{*1}	パートナー	基礎	非臨床	臨床研究	治験	上市
TLG-001	近視進行抑制 VL ^{*2} メガネ	近視 進行抑制	登録 日欧 ^{*3} 香星台 出願 中韓	JINS (国内) 参天製薬 (アジア ^{*4}) TTT ^{*5} (アメリカ大陸)				終了 探索治験 開始 検証治験	
TLM-003	強膜菲薄化 抑制点眼薬	近視 進行抑制	登録 日 出願 米欧中亜	ロート製薬 (国内・アジア3カ国 ^{*6}) Thea ^{*7} (米、欧)		非臨床			
TLM-007	眼血流増大 近視抑制点眼薬	近視 進行抑制	登録 日	未定	基礎				
TLG-003	円錐角膜進行 抑制VLメガネ	円錐角膜	登録 日 出願 米印伯	未定			特定臨床研究		
TLM-001	MGD ^{*8} 治療薬	ドライアイ	登録 米英独仏	マルホ (グローバル)	準備	非臨床			
TLG-005	脳活性化 VLメガネ	うつ病	出願 日米欧中 以伯韓	住友ファーマ			特定臨床研究		
		認知症					特定臨床研究		
		脳疾患X					特定臨床研究		

※1：バイオレットライト関連製品 (TLG-001、TLG-003) については、基本特許により網羅。基本特許は日米中台で登録、欧韓星で出願中。
 ※2：VL=バイオレットライトの略
 ※3：英仏独伊
 ※4：中国、シンガポール、マレーシア、ベトナム、香港、マカオ、タイ、フィリピン、韓国。基本合意契約書を締結。
 基本合意契約書は最終的な契約締結を確約するものではなく、今後両社で協議をした上で詳細条件につき合意に至った場合に、その後必要な手続きを経て正式契約締結する（2023年以降の予定）。
 ※5：TTT=Twenty/Twenty Therapeutics
 ※6：台湾、ベトナム、インドネシア
 ※7：Thea=Laboratoires Théa
 ※8：MGD=マイボーム腺機能不全

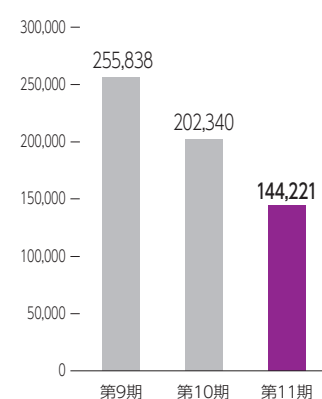
財務ハイライト

		第9期 (2021年3月期)	第10期 (2022年3月期)	第11期 (2023年3月期)
売上高	(千円)	687,502	640,921	954,693
経常利益	(千円)	255,838	202,340	144,221
当期純利益	(千円)	201,609	153,319	90,181
純資産額	(千円)	591,033	744,353	1,950,373
総資産額	(千円)	1,078,578	1,617,795	2,672,961
1株当たり純資産額	(円)	26.11	32.89	77.07
1株当たり当期純利益	(円)	8.97	6.77	3.66
自己資本比率	(%)	54.80	46.01	72.97

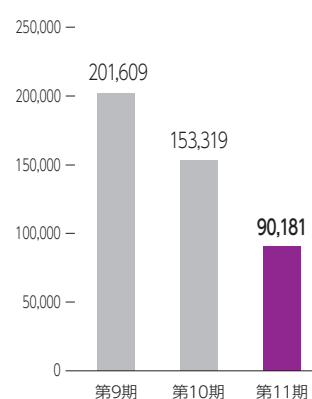
■ 売上高 (単位: 千円)



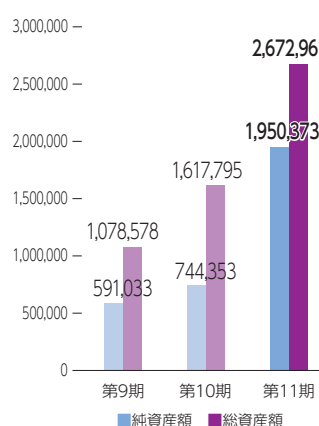
■ 経常利益 (単位: 千円)



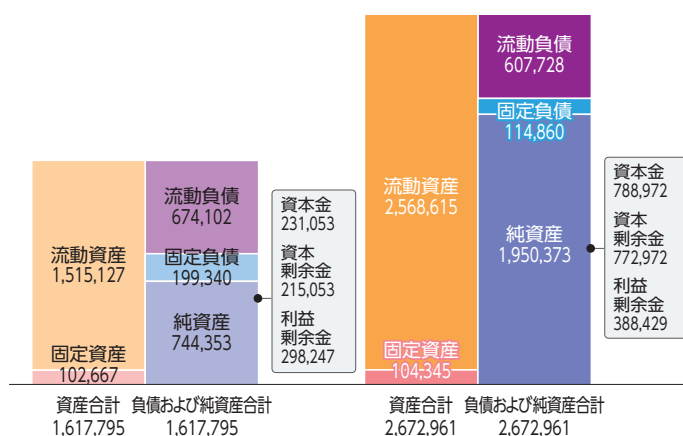
■ 当期純利益 (単位: 千円)



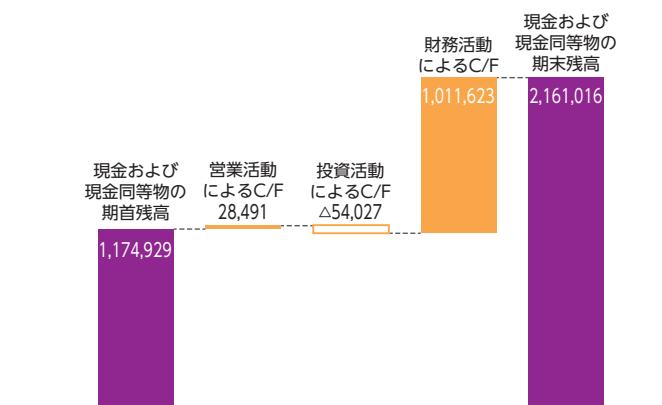
■ 純資産額/総資産額 (単位: 千円)



■ 貸借対照表 (単位: 千円)



■ キャッシュ・フローの状況 (単位: 千円)



前期 (2022年3月31日現在)

当期 (2023年3月31日現在)

当期 (2022年4月1日～2023年3月31日)



坪田ラボ IR情報

▶ <https://tsubota-lab.com/ir/>

坪田ラボ IR

検索



▶ <https://tsubota-lab.com/>

会社概要／株式の状況

(2023年3月31日現在)

■ 会社の概要

社名	株式会社 坪田ラボ
英文社名	Tsubota Laboratory, Inc.
本社	東京都新宿区信濃町34番地 トーシン信濃町駅前ビル 304
設立	2012年5月28日
資本金	788,972,000円
従業員数	10名
ホームページ	https://tsubota-lab.com/

■ 役員 (2023年6月28日現在)

代表取締役 社長	坪田 一男	常勤監査役 (社外)	河野 直輝
取締役 経営企画部長	山田 進太郎	監査役 (社外)	堤 康之
取締役 事業開発本部長	久保田 恵里	監査役 (社外)	村田 真一
取締役 (社外)	小泉 信一		

■ 株式の状況

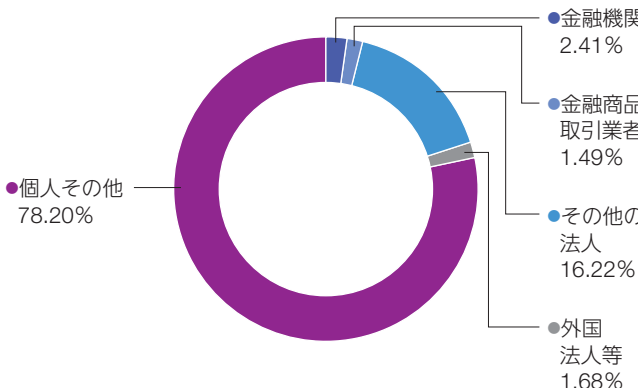
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	25,306,800株
株主数	7,231名

■ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
坪田 一男	12,881	50.90
株式会社坪田	3,200	12.64
大高 功	1,840	7.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	338	1.34
合同会社マーズ	250	0.99
株式会社ジズホールディングス	220	0.87
ロート製薬株式会社	220	0.87
原 裕	219	0.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	211	0.84
株式会社テムル・パートナーズ	160	0.63

(注) 当社は自己株式を保有していません。

■ 株式の所有者別構成比



※当社株式を1単元(100株)以上所有されている株主様について記載しております。

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所グロース市場
事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
剰余金の 配当の基準日	毎年9月30日、毎年3月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先
および電話照会先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話:0120-782-031(フリーダイヤル)

公告掲載方法

電子公告により行います。
公告掲載URL:<https://tsubota-lab.com/>
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。